

2軸 X Y外径測定器の東京光電子工業(株) LMG127XY 製品仕様

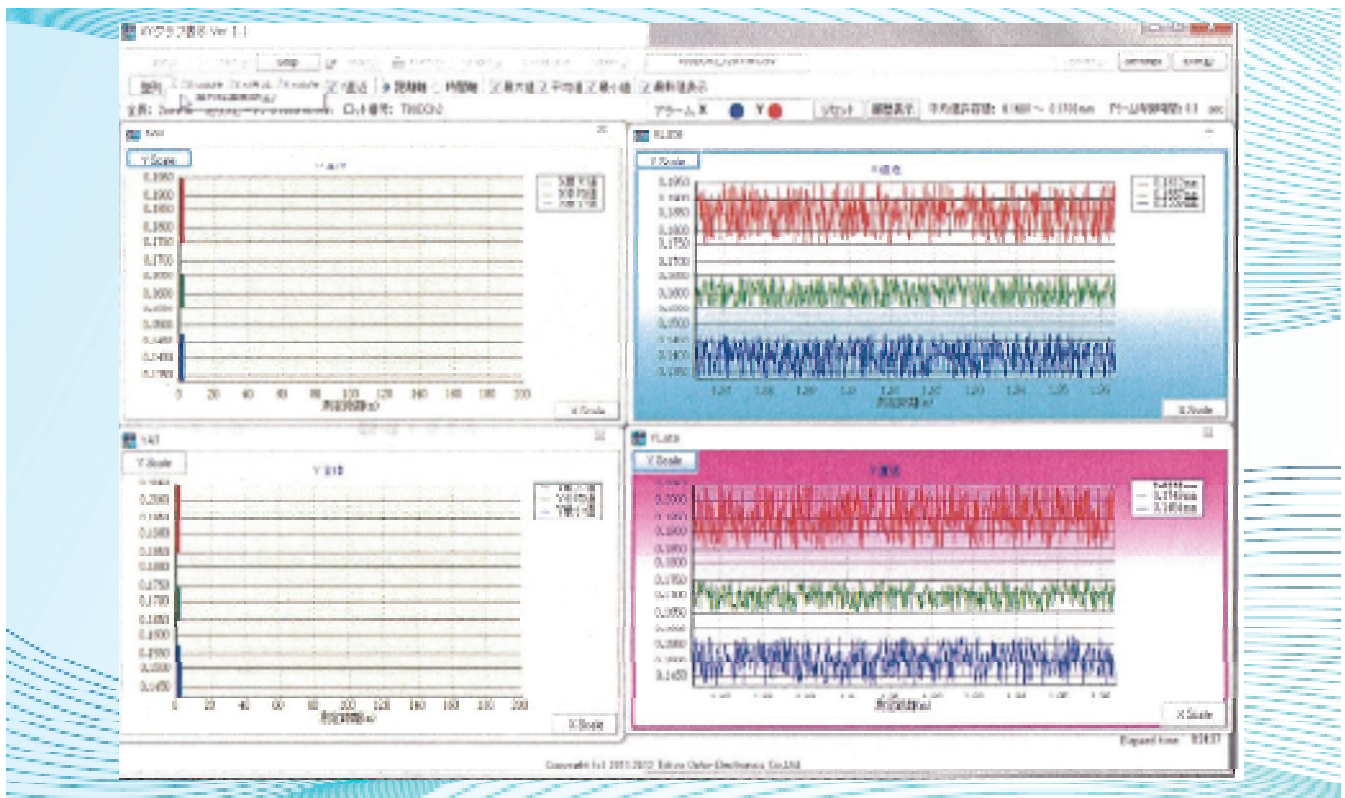
確かな品質管理をローコストで実現

センサ・表示部・ケーブルのセット価格は120万円(税別)

毎秒3600回の測定でもミクロンオーダーの高精度な測定が可能。
高速に移動する製造ライン上でも短い間隔で外径を測定することができます。
また、測定領域内のどの位置でも高精度に測定でき、測定物の位置ずれをカバーすることができます。



センサ部は縦置き・横置きどちらでも測定可能
左右の表示部にX側外径・Y側外径を同時表示、X-Yの差分表示も設定可能
左右の表示値それぞれに公差を設定し判定を表示・出力(オプションのパトライトセットも接続可能)



「LMGdataLogXY」を使用してオンラインでの測定データを表示・CSV保存出来ます

※無料の簡易版データ取得プログラムもございます。Windows 7/XP(各32bit版に対応)
RS232Cケーブル(クロスケーブル)またはUSB変換アダプタを御利用下さい
※専用の測定プログラムや測定治具も製作いたしますので、ご相談願います
オプションで各種測定用ガイドもございます(ベアリング受け・YAANガイド受け・その他)

XY測定用レーザマイクロゲージ LMG D7-127XY

製品HP <http://www.toe.co.jp/lmghome.html>

センサ部 仕様

項 目		LMG 1 2 7 X Y	
使用レーザ		可視半導体レーザ（655nm） クラス2	
測定物の大きさ		0.1mm ～ 12mm	
最小表示値		0.01μm または 0.00001 inch	
測定領域	中心からの半径	6mm（直径12mmの円内）	
測定精度 ^{*1}	再現性	±0.5μm	
	直線性	±0.5μm	
	繰り返し	±0.05μm	
測定回数	3600回/秒	レーザ走査速度	226m/s
周囲温度	0～45℃	質 量	5kg

*1.周囲温度20±5℃、平均回数896回（表示間隔0.25秒）以上で丸棒の外径測定時
（±1ディジットの量子化誤差は含まず）

再現性：測定領域中心から測定物をX,Y方向それぞれ±1mm内で移動して測定した時の、測定領域中心での測定値との差

直線性：測定領域中心で標準ゲージのサイズを変えて測定した場合の誤差

繰り返し：測定領域中心で同一標準ゲージを繰り返し測定した場合の±2σの値

表示部 仕様

モデル名	D7-XY 型
接続センサ	LMG 1 2 7 X Y 1台
測定値表示部	左右の測定値表示部に2つの測定値を同時表示可能
表示間隔	0.28ms - 4.4s 間を任意に設定：5種登録可能（移動平均も設定可能）
目標値設定	左右それぞれに設定
許容誤差設定	小数点以下の上限、下限値を左右、データ演算値ごとに設定
測定モード	外径X、外径Y、外径X-Y、外径XとYの平均
データ演算処理	平均値、最大値、最小値、最大値－最小値
データ出力	RS-232C、アナログ±10V(USB,BCDはオプション)
アラーム	許容誤差範囲内では表示パネルのランプが点灯し、背面端子台のアラーム接点が閉じる。
その他	外部信号による測定、校正、測定値のオフセット、ゼロセット
質 量	4kg
電 源	AC85V - 264V 50/60Hz 30VA